



観 瀾

福田小学校だより No.17

令和7年 7月 9日(水)

文責:校長 青田 祥一

〒979-2708

福島県相馬郡新地町大字福田字中里16

TEL : 0244-62-2303

FAX : 0244-63-2016

学校web : <https://shinchi.fcs.ed.jp/> 福田小学校



第28回 新地町少年の主張大会

最優秀賞 6年 ○○ ○○ さん

努力賞 5年 ○○ ○○ さん

7月8日(火)、新地町文化交流センター(観海ホール)にて、第29回 新地町少年の主張大会が開催され、小学校の部において本校6年生の○○ ○○さんが最優秀賞に、5年生の○○ ○○さんが努力賞に選ばれました。おめでとうございます!! 林さんは「新地町の未来についての提言」を鈴木さんは「自他の尊重」をテーマにスピーチを行いました。裏面に2名のスピーチ全文を掲載してありますので、どうぞご覧ください。

今回、閉会式の講評で審査委員の泉田教育長からは「スピーチの内容」「表現力」「態度」を中心に審査した。というお話がありました。最優秀賞の林さんは、その3点において大変優れていました。鈴木さんも大変堂々とした発表ができました。

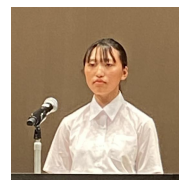
福田小学校の児童が最優秀賞をいただくのは、今回で4年連続となり、大変な快挙です。全校生並びに保護者の皆様とともに2名のがんばりを讃えたいと思います。

第29回 新地町少年の主張大会



「新地町の未来のために二つの提案」 福田小 6年 OO OO

みなさんは、将来の新地町がどんな町になっていると思いますか。春には鹿狼山に花が咲き、夏には海に人が集まり、秋には米や果物が実る。そんな自然豊かな今の新地町がこれからどんな風が変わっていくのか。少し想像してみてください。自然とともに生きる町。誰もが安心して暮らせる町。そして、みんなが「ここに住み続けたい」と思える町。そんな未来を私たち一人一人の思いや行動がつくっていくのだとしたら、私は、町のみなさんに二つの提案をしたいのです。



一つ目の提案は「SDGs」の取り組みです。地球を守るために世界中の人たちが一致団結するということです。私は毎日の生活の中で、自分にできることを少しずつ実践するようにしました。

例えば、水を出しっぱなしにしないようにしたり、電気をこまめに消したりしています。また、以前、家族で海に行った時、青い海と白い砂浜はとても綺麗でしたが、足元にはペットボトルのキャップや小さく砕けたプラスチックなど、多くのゴミが落ちていました。少しの時間、家族でゴミ拾いをしました。しかし、一生懸命に拾っても、全ては取りきれませんでした。海に流れ出たプラスチックは景観を損ねるだけでなく、魚や鳥が食べてしまい、命を落としてしまうこともあるそうです。それを防ぐために、私たち一人一人が意識をしてゴミを出さないことが大切だと感じました。私は、ゴミ拾いに組みみたい気持ちと同時に、特別な日だけゴミ拾いをするのではなく、普段の日常生活の中で「見つけたら拾おう」私の周りの人に「いっしょにやってみよう」と声をかけられる人になりたいです。小さな行動でも、みんなで協力すれば、必ずきれいな新地町の海を守れると信じています。海と共に暮らす人々が笑顔で、楽しく、そして安心して過ごせるまちづくりをしたい。誰もが生き生きと活動し、心を通わせられるような温かいコミュニティをSDGsの取り組みを通して、育んでいきたいです。

そしてもう一つ、誰もが「ここに住み続けたい」と思える町にするため、「道の駅」の建設を提案します。道の駅は、新地町の未来を拓く拠点になると確信しています。

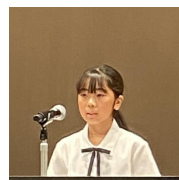
新地町には、美味しいカレー、ニラやいちじくなどの特産品、そして福田十二神楽のような歴史ある文化が豊富にあります。しかし、これらの魅力はまだ広く知られていません。道の駅は、こうした新地町の宝物を集め、発信する「観光の玄関口」となります。道の駅の直売所では、新鮮な海産物や農産物を販売し、訪れる人に新地町の「旬」を味わってもらいます。また、地域の文化を紹介するコーナーを設け、魅力を伝えます。SNSや動画で道の駅の様子を発信することで、新地町の知名度を上げ、観光客を増やすことができます。これにより、地元の商店や宿泊施設も活気づき、新地町の経済が活性化すると考えます。

道の駅の建設は、新地町の「魅力発信」「高齢化対応」「未来を担う人材育成」という、複数の課題を同時に解決できる可能性を秘めた、まさに「一石三鳥」と言えるでしょう。この道の駅ができれば、新地町の新たな象徴となり、地域に活気と笑顔をもたらすことが強く期待できます。

今日、私は二つの提案をしましたが、私はこれからも新地町に住む全ての人が心から笑顔で過ごせるように考え続けていきます。

「自分を知ること」 福田小 5年 OO OO

皆さんは、自分自身のことをどのくらい知っていますか？友達という時の自分、家族という時の自分、一人での時の自分。自分といっても、そこには様々な顔があります。私は、自分のことを全て分かっていると思っていました。しかし、私の身近な人達に話を聞いてみると、友達から見た私、家族から見た私、そして私が知っている私では、それぞれ少し違った一面があることに気付かされました。



まず私は、楽しい気分の時に、はしゃいだり友達と思いきり笑ったりすることがよくあることから、私から見た私は「明るくて盛り上げ役」だと感じています。一方、家族から見た私は、兄弟喧嘩の時に弟に対して厳しい言葉遣いをしてしまったり、母から注意された後の気持ちが態度に出てしまったりしているようで、「強気で怒りっぽい」という印象があるようです。また、友達に聞いてみたところ、「話していて楽しいし友達思いな行動も多いから、面白くて優しい人」と答えてくれました。

身近な人に話を聞く中で、様々な私を見つけることができました。人によって、こんなにも私の印象が違うことに驚きました。

もっと色々な自分を見つけない。そんな思いをもっていた時、学級活動で「ほめ言葉のシャワー」というものをやりました。「ほめ言葉のシャワー」とは、ほめ言葉を、シャワーを浴びるようにたくさん伝えたり伝えてもらったりするというものでした。最初は少し恥ずかしい気持ちや、友達から見た私はどのように映っているのだろうかという不安な気持ちがありましたが、実際にやってみると、多くの発見がありました。まず、友達に良いところを伝えた時。友達の良いところを考えていたら、自分が友達にたくさん優しくしてもらっていることに気付かされました。また、友達をほめている時は自分もうれしい気持ちになり、これからは友達を大切にしたいという思いがより一層強まりました。次に、友達から良いところを伝えてもらった時。みんな違ったことを言ってくれて、たくさん自分の良さに気付くことができました。一番心に残った言葉は、「けがをした時に一番心配してくれる」という言葉です。いつのことだか覚えていないくらい何気なくしていた行動が、その子の心の中にはずっとあったのだと知った時、言葉にできない嬉しさがこみ上げてきました。他にも浴びたシャワーはうれしいものばかりで、お風呂に入った後のようにさわやかで温かい気分になりました。そして、これからも自分の良いところに自信をもち、大切にしていきたいと思うことができました。

自分を見つめてよく知ること。それは、自分をもっと好きになることだと考えます。強みは、自信や行動への原動力になります。弱みは、相手の気持ちに寄り添える思いやりになります。このように考えることで、私はこれまで以上に自分のことが好きになりました。自分を知ることで、自信をもって行動できたり人に優しくなれたりするなんて、素敵なことだと思いますか？

まだ知らない自分、これから新たに出会う自分がいると思います。これからも、人との関わりを大切にする中で、いろいろな自分を発見していきたいです。一人ひとりに様々な顔があります。だからこそ、私は人をひとつの見方で決めつけない。そんな目を持ち続けていきたいと思うのです。